

施政方針について

水落孝子



【施政方針・子育て支援策について】

【質問】子ども医療費助成事業は、通院が小学校卒業まで助成に拡充されたばかりであるが、「児童手当」の財源として年少扶養控除廃止による増収分があてられており、手当てより増税のほうが多くなっているケースがあることから、税増収分を通院の中学校卒業まで助成してはいかがか。
【答弁】【市長】平成25年4月より、通院の対象者を小学校卒業までに拡大したばかりである。まず4月からの状況を心まえていきたい。
【施政方針・環境対策について】
【質問】焼却灰の8千

ベクレル超のものは一時仮置き場に置き、未満の焼却灰は角田センターでもう一度焼却し最終処分場に納めるとのことだが、全袋測定でなければ、8千ベクレル超の焼却灰が角田センターで焼却される可能性もあり、環境保全に努めると言えるのか。

【答弁】【市長】現在の対応は国の基準と対応マニュアルに従っている。

【質問】国の対応マニュアルは、抽出検査であり全部の検査でないことから、8千ベクレル超のものが角田センターに行く可能性はあるのか、ないのか。
【答弁】【市長】ないと信じているが、ある可能性もゼロではない。
【質問】土壌調査のための簡易測定器があるそうなので、その利用

で全袋検査をするよう検討してほしい。

【答弁】【市長】検討したい。

【市民要望の旧指定ごみ袋有効活用について】

【質問】各家庭に残っている旧指定ごみ袋の利用あるいは角田市のよう交換の要望は根強い。白石市においても有効利用事業を考えたほしい。

【答弁】【市長】有効活用だが、焼却処分ではなく、その他のプラスチックとしてリサイクルされるよう理解してもらいたい。

【質問】市内には、まだ旧ごみ袋が残っている家庭が多い。1年4ヶ月の経過措置期間があったから、仙南広域で決めたことだからというのではなく、角田市でやっているように利用できるようにしてほしいと要望する。

【その他の質問】

○施政方針・集中改革プラン第二次改訂版の中から、9点について質問した。

施政方針について

四竈英夫



【質問】わいわいトークの開催範囲と回数。

それをどのように市政に反映するのか伺いたい。

【答弁】【市長】地域の活性化を図るため、平成25年度よりまちづくり交付金制度を創設し、地域の自主的な活動を支援していく方針である。このことから、地域の皆さんとの意見交換を計画している。

まずは公民館ごとに1回開催し、提言に対しては十分検討しながら、市政に反映できるかどうかを判断していきたい。

【質問】学力定着度調査は、どのように活かしていくのか。土曜日の授業復活も論議され

ているが、見解を伺いたい。

また、「学び支援コーディネーター」配置の内容を伺いたい。

【答弁】【教育長】学力定着度調査は本市で独自に作成しているものである。調査の分析結果により、小学校での指導成果と課題を確認し、重点指導事項が定着するよう改善方策を図る。

土曜日の授業復活については、児童生徒は土・日曜日にいろいろな活動を行って、休日として定着している中で、現状維持と考えている。

「学び支援コーディネーター」は県の委託を受け、退職教員を充てる。自学自習を基本に生徒の支援を行うもので、教員に負担をかけることはない。

【質問】今年6月に「本因坊タイトル戦」が行われるが、将棋のタイトル戦を誘致する考えはないか。

【答弁】【市長】本因坊タイトル戦については、昨年開催のねりんピック囲碁競技開催が高い評価を受けた事により、開催に至った。将棋のタイトル戦は全国の有名温泉等がしのぎを削って誘致しているもので、本市として誘致活動をする考えはない。

【質問】焼却灰仮置場の選定が難航している。早期設置が待たれるが、市の対応と今後の見通しについて伺いたい。

【答弁】【市長】小原地区では地域の理解が得られ、3月末までに収集を開始したい。その他の地区でも自治会長・地域住民との説明会を開催し、相談を行っている。

一日も早く収集・保管を進めていきたい。